

第1号様式(第3条関係)

記載例

覚醒剤原料事故届

覚醒剤取締法第30条の14の規定により、覚醒剤原料の事故を届け

○年○月○日

届出年月日を記載

法人の場合は、登記された本店の所在地、名称及び代表者の氏名を記載します。

住所 新宿区新宿五丁目18番21号
氏名 株式会社〇〇医薬品
代表取締役 新宿 花子

業態		薬局	
業務所	所在地	新宿区新宿五丁目18番21号	
	名称	〇〇薬局	
事故発生年月日		〇〇年〇月〇日	
事故発生場所		調剤室内	
品名	数量	事故の状況	
エフピー錠2.5mg	20錠	〇〇年〇〇年〇〇日に処方せん（△△医院発行）に基づき当該医薬品を処方したが、〇〇年〇〇月××日に薬剤師会の情報により偽造処方せんが流通していることを知り、調べたところ、〇〇年〇〇月〇〇日に持ち込まれた処方せんが偽造処方せんであることが発覚した。	

備考

- 1 字は、墨又はインクを用い、楷書ではっきり書くこと。
- 2 法人の場合は住所欄には主たる事務所の所在地を、氏名欄にはその名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 3 事故の状況は具体的かつ詳細に記載すること。なお、必要に応じ別紙を用いること。